



地域共生社会の実現 ～校内に放課後児童クラブの開設～

カテゴリー：連携（地域・多職種等）

【学校概要】

学校名：学校法人宮崎総合学院小林看護医療専門学校

所在地：宮崎県小林市駅南 309 番地

課程名：看護学科3年課程

1 学年定員数：40 名 修業年限：3 年間



1. 内容

本校は、「社会貢献を基盤とし、地域住民及び関係するすべての人々の健康と幸せに積極的に寄与し、博愛・克己・至誠の精神を土台とした人材の育成」を教育理念に掲げ、西諸医師会、行政（小林市・えびの市・高原町）の全面バックアップのもと、地域をあげて人材育成に取り組んでいる。

開校10年目を迎え、地域貢献の1つとして、令和6年4月から施設内に放課後児童クラブを開設し、約30名の児童がクラブを利用している。小林市の中心にある本校周囲には4校の小学校があり、児童クラブを利用できない待機児童が多いことが地域の課題であった。本学生にとっても、児童の成長発達過程を知り、コミュニケーションを図る機会を得ることは、対象の理解につながり、小児看護の基礎を学ぶ機会になっている。実際の様子を紹介する。

2. 放課後児童クラブの児童と本学生の関わりの様子



お兄ちゃんも
地図の勉強した？



折り紙の本見ても
分からないところがあ
るんだけど…

本校の教員もクラブを利用しており、“小1の壁”を乗り越え、子育てと仕事の両立を図っている。

学生は、主体的な学習活動（ゼミ活動）として、放課後の時間を使い、クラブの児童たちと交流を持っている。始めは、どのように接してよいか分からず、児童の様子を見ているだけの学生たちも、支援員の先生方のサポートや好奇心旺盛な児童からの声かけもあり、学習や遊びと一緒に取り組む様子が見られている。

【学生の声】授業で習ったより、成長・発達が早いと思った。あくまでも目安で個人差が大きいことが改めて分かった。（看護2年生）子どもたちが、すごくかわいい。やっぱり小児科で働きたいと思った。（看護1年生）

【児童の声】お姉ちゃんたちが一緒に折り紙をしてくれて嬉しかった。（1年生）

お兄ちゃんたちも、勉強頑張ってるって言ってたから、僕も宿題頑張ろうと思う。（4年生）

3. まとめ

地域共生社会の実現には、生活に身近な地域において、住民一人一人が世代や背景を超えてつながり、相互に役割を持ち、「支え手」「受け手」という関係を超えて支え合う取り組みを育む必要がある。本校の取り組みも、まさにその1つといえるのではないかと考える。学生は、看護学生であると同時に地域住民の一人であり、地域の課題解決に向け、自分ができることは何かを考え、行動していく力を醸成できるような仕掛けづくりを継続して行いたいと考える。